

薬学で学ぶ：
がんゲノム医療と分子標的治療薬

2019年 1月20日(日)

13:30-15:00 (受付13:00~)

無料

「がん」という病気は、遺伝子の異常で起きることが分かってきました。がん治療における最近の話題、がんゲノム医療と新しい治療薬についてご紹介いたします。



- ・定員：200名(先着順)／受講料：無料
- ・対象：どなたでも
- ・申込締切：2019年1月6日(日)
- ・会場：慶應義塾大学 芝共立キャンパス

■主催：慶應義塾大学薬学部
■共催：文部科学省 多様な新ニーズに対応する
「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
ー未来がん医療プロフェッショナル養成プランー



【講師】
慶應義塾大学薬学部化学療法学講座
野口 耕司 准教授

■講師プロフィール

野口 耕司

慶應義塾大学薬学部化学療法学講座 准教授

プロフィール

- 1991年 東京大学薬学部卒業
- 1995年 日本学術振興会・特別研究員
- 1996年 東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了
博士(薬学)
- 1996年 国立がんセンター研究所(現 国立がん
センター研究所)・研究員
- 2000年 国立感染症研究所・研究員
- 2002年 同上・主任研究員
- 2004年 米国 National Research Council・Research Associate
- 2004年 米国 National Institute of Health・Visiting Scientist
- 2007年 共立薬科大学 准教授
- 2008年 慶應義塾大学 准教授
- 現在に至る

アクセス

- ・JR山手線/JR京浜東北線 浜松町駅下車、徒歩10分
- ・都営地下鉄三田線 御成門駅下車、徒歩2分
- ・都営地下鉄浅草線/都営地下鉄大江戸線 大門駅下車、徒歩6分

【講座情報】

がんという病気は遺伝子の異常で起きる、と学んだ人も多いと思います。現在では、ゲノム解析技術の進化とともにがんゲノムにおける複雑な遺伝子異常が次々に明らかになり、それに呼応して分子標的治療薬の開発も爆発的に進んでいます。がん薬物治療の現場においても、患者様のがん部位におけるゲノム情報をDNAレベルで網羅的に解析し、その遺伝子異常に対応する治療薬を選択して、個々人それぞれに最適な医療を提供するという、最適化医療・プレジジョンメディシンの実装が現実化してきました。

本公開講座では、がん薬物療法のパラダイムシフト、がんゲノム医療と分子標的治療薬について、基礎から学ぶ良い機会を提供できれば幸いです。



お申し込み方法

※先着順、定員になり次第締切 ※ハガキ、FAX、E-mailでお申し込みください

慶應義塾大学大学院薬学研究科 がんプロフェッショナル事務局 宛

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

FAX : 03-5400-2633

E-mail : kyg-sympo2(a)adst.keio.ac.jp

締切:2019年1月6日(日)

FAXでお申込みの方は、下記にご記入の上、こちらの用紙をお送りください。

ハガキ、E-mailでお申込みの方は、それぞれに下記事項のご記入をお願いいたします。

フリガナ 氏 名	
住 所	〒
電話番号	
年 齢	
職 業	

* 個人情報の取扱: 申込時に提供された個人情報は受講者管理及び御案内の発送以外の目的には使用いたしません。

【お問合せ】 がんプロ事務局
TEL: 03-5400-2498